



## 中津江

## Nakatsue



## 髪も心も軽やかに

10月20日、鯛生地区で散髪のボランティア活動が行われた。同地区では、国道442号線が令和2年7月豪雨で全面通行止めとなり、市内中心部への移動が困難な状態が続いていた。車を持たない住民は散髪するのも不便な状況だったが、市内の美容師の好意で久しぶりに髪を整えてもらい「気持ちもすっきり晴れるね」と嬉しそうに笑顔を見せていた。



## 若い力で復興を後押し！

10月2日、福岡県消防学校の学生103人が、県外研修の一環で復興ボランティア活動を行った。作業現場は、令和2年7月豪雨で大規模な土砂崩れが起きた津江老人福祉センターと高齢者生活福祉センター。学生たちは大木を運ぶなど大粒の汗を流しながら懸命に取り組んでいた。中津江村の復興は、地域を超えてたくさんの人たちに支えられている。



## 前津江



## 秋の奥日田でアウトドアを満喫！

11月7日、8日にスノーピーク奥日田キャンプフィールド内特設会場で「YAMAP Presents 奥日田 Autumn Camp」が2日間にわたり開催された。参加者は、釈迦岳・御前岳を舞台に、全15箇所のチェックポイントを巡るロゲイニングやスノーピークスタッフによる登山者向けの講習会、夜には焚火ラウンジを行った。

2日目はYAMAP専属ガイドによる親子登山も開催され、専属ガイドのひげ隊長を先頭に、自然に関するクイズやアプリの使い方を説明しながら、約1時間かけて釈迦岳の山頂までの山道を楽しそうに登っていた。また、ツーリングで展望台まで登り、景色を眺めながら食事をするなど、参加者はそれぞれのスタイルで奥日田の秋を満喫していた。

## 大山

## Oyama



## 練習の成果を見てください

10月7日、大山小学校の4・5・6年生による鼓笛お披露目会が行われた。この日は旧大山振興局跡地と社会福祉協議会大山支所前で停止演奏を行い、「大山小学校校歌」「はじめの一步」「ふるさと」の3曲を披露した。児童たちのスピード感あふれる演奏と工夫を凝らした演出に、集まった人々からは大きな拍手が送られていた。



## 受け継がれる技と伝統

10月4日、鎌手地区の高平神社で秋祭りに向けたしめ縄作りが行われた。この日は神社の氏子約30人が集まり、作業を分担しながら4時間ほどかけて様々な大きさのしめ縄を作った。神社の正面に飾るしめ縄は特に大きく、3本のしめ縄を右にねじりながら、反時計回りに巻く大掛かりなもの。若い氏子たちは年配者の指導を受けながら作業していた。



## 登山道をきれいに

10月13日、奥日田ローカルツーリズムと前津江町集落支援員・地域おこし協力隊が、御前岳シオジ原生林・登山口の登山道整備作業を行った。登山道は草木が伸び、登山道入り口の看板や案内表示が分かりづらい状態になっていたが、今回の作業で安全に登山を楽しむ環境整備ができた。たくさんの登山客に御前岳を満喫してほしい。



## 人との関わりを学ぶ

10月11日、前津江小学校体育館で人権講演会が開催され、38人が参加した。今回は講師として弁護士のみずみたまを招き、「弁護士からみた人権問題について」という演題の講演が行われた。三隅さんは「人の話を聞くときは否定から入らずに、相手の言うことを受け止めることが大切だ」と参加者に語り掛けていた。